

様式 1

令和 6 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 7 年 2 月 2 0 日

江別市立江別第二小学校

1 本年度の重点目標

「なりたい自分になるために」、
自分のことばで語り、相手を認め、能動的に学ぶ子の育成～紡ぐ～

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	1. PDCAサイクルに基づく学校改善を図る。 ①年度末教職員評価関連項目肯定的評価 80%以上 ②保護者評価「学校づくり」肯定的評価 80%以上	A	①教職員の肯定評価 100% (適切 61.0%) ②保護者アンケートの肯定評価 93.8% 学校改善を図るために、学校評価を短期スパンで実施し、実効性のある改善サイクルを確立した。 各種調査において、評価後に速やかに分析、ポイントを押さえ改善策を提示したことで、組織全体の取組となった。 今後も、短いスパンで検証改善を行い、学校改善を図っていく。	A	A
	2. 信頼される学校づくりを推進する。 ①年度末教職員評価関連項目肯定的評価 80%以上 ②保護者評価「家庭・地域との連携」肯定的評価 80%以上	A	①教職員の肯定評価 100% (適切 74.0%) ②保護者アンケートの肯定評価 94.9% 学校ホームページにより、日常の教育活動の様子を中心に積極的に教育活動の発信に努めた。 P T A ボランティア活動では、約 20 種類の中から 1 人につき最低でも 1 つの活動に参加してもらった。また、地域の方々に協力いただいている「二小っ子見守り隊」には、1 0 自治会から 5 4 名の方の登録があった。 今後も、学校と家庭、地域で連携を図りながら、信頼される学校づくりを推進していく。	A	A
教育課程・学習指導	3. 基礎的な知識や技能を定着させる学習指導を工夫する。 ①年度末教職員評価関連項目肯定的評価 80%以上 ②保護者評価「」肯定的評価 80%以上 ③全国学力・学習状況調査全国平均以上 N R T 標準学力検査偏差値 50 以上)	B	①教職員の肯定評価 98.5% ②保護者アンケートの肯定評価 95.2% ③全国学力・学習状況調査においては、国語、算数とも全国平均を上回った。N R T 学力検査においては、学年差が見られ全国平均に達しない学年があった。 全教室で学習規律の徹底を図り、学びに向かう姿勢を大切にした。 全国学力・学習状況調査(以下全国学調)等において、一人一人の学習状況を的確に見取り、適切な指導を行ってきた。 今後も、各種調査結果を基にしながら児童が「わかる・できる」を味わせる授業改善に努めていく。	B	A

	4. 学ぶ意欲を高め、思考力・判断力・表現力等を伸ばす授業改善を行う。 ①年度末教職員評価関連項目肯定的評価 80%以上 ②保護者評価「」肯定的評価 80%以上	A	①教職員の肯定評価 99.0% ②保護者アンケートの肯定評価 77.9 対話により全ての子どもが自他の考えの価値交換を行い活躍する授業づくりに努めている。 教師間の I C T 研修や日常の学び合いを通して、学習の中で I C T の有効活用が進んでいる。 今後も、対話を重視しながら、I C T を有効活用することで、主体的・対話的で深い学びの実現を図っていく。	A	A
生徒指導	5. 思いやりの心や自己肯定感を育む教育活動を推進する。 ①年度末教職員評価関連項目肯定的評価 80%以上 ②保護者評価「豊かな心」肯定的評価 80%以上 ③全国学調「自分にはよいところがあるか」肯定的評価 80%以上	B	①教職員の肯定評価 100% (適切 61.0%) ②保護者アンケートの肯定評価 91.0% ③全国学調「自分にはよいところがあるか」は、肯定的評価 92.3% 全国学調「自分にはよいところがあるか」は、全国平均よりも+8.7 ポイント、昨年度比+8.2 ポイント高かった。この結果からも児童の自己肯定感が育まれていることがわかる。 今後も、道徳科、特別活動の授業を通じて、思いやりの心や自分を大切にする気持ち、自己有用感の高揚につながる指導・促しを推進していく。	B	A
	6. 「いじめ防止基本方針」に基づくいじめ、不登校の未然防止及び早期解消への組織的な実践を推進する。 ①年度末教職員評価関連項目肯定的評価 80%以上 ②保護者評価「生徒指導・特別支援」肯定的評価 80%以上 ③全国学調「いじめはどんな理由があってもいけない」肯定的評価 80%以上	A	①教職員の肯定評価 100% (適切 76.0%) ②保護者アンケートの肯定評価 91.0% ③全国学調「いじめはどんな理由があってもいけない」は、肯定的評価 99.0% (全国平均より 2.3 ポイント高い) いじめについては、年間 3 回のアンケートにより、早期発見に努めるとともに、定期的かつ必要に応じて、いじめ防止対策委員会を開催し組織的な対応を行っている。 子どもの特性や保護者の願いを基本として、校内や外部機関と連携し、個に応じた適切な対応と指導を図った。 今後も、さらに高評価を維持、発展させるため、一人一人の実態に応じた適切な対応と組織体制の充実に努めていく。	A	A
小中一貫教育	7. 江別第二中学校区小中一貫教育の確立を図る。 ①(年度末教職員評価関連項目肯定的評価 80%以上 ②保護者評価 肯定的評価 80%以上	A	①教職員の肯定評価 100% (適切 48.5%) ②保護者アンケートの肯定評価 93.7% 年間 3 回、小中の全教職員が集まり、小中ブロック研修会や小中合同教科部会を開催し、教育課程の見直しを行った。 具体的な取組としては、部活動体験や小中合同の挨拶運動、地域清掃等を計画通り実施した。 今後も、小中教職員のさらなる連携、具体的な取組の推進、適切な情報発信などの充実に努めていく。	A	A

	8. 幼保小連携を推進する。 ①(年度末教職員評価関連項目肯定的評価 80%以上 ②保護者評価 肯定的評価 80%以上	A	①教職員の肯定評価 100% (適切 48.5%) ②保護者アンケートは、93.7% 市開催の「幼保こ小連携 入学前交流会」において、丁寧な引継ぎと小学校が作成したスタートカリキュラムの説明を行った。 今後も、生活科での幼保ことの交流学习、スタートカリキュラムの内容の検討、相互の授業参観などを推進していく。	A	A
その他	9. 健康・安全教育の充実を図る。 ①(年度末教職員評価関連項目肯定的評価 80%以上 ②保護者評価「体力向上・健康安全教育」「早寝早起き朝ごはん」肯定的評価 80%以上 ③避難訓練等実施 3 回、食育授業全学級実施)	B	①教職員の肯定評価 97% (適切 49.0%) ②保護者アンケートの肯定評価 94.8% 体力向上を目的に、全校で縄跳びに力を入れ取り組んだ。 また、避難訓練を 3 回、食育指導は日常の給食指導と全校合わせて 20 回の授業を行い、健康・安全教育の充実を図ってきた。 今後も、職員の危機管理意識の向上と特別活動、保健、体育の授業を通じた健康・安全教育の充実を図っていく。	A	A
	10. 働き方改革による教職員の経営参画意識の向上を図る。 ①年度末教職員評価関連項目肯定的評価 80%以上	B	①教職員の肯定評価 91.0% (適切 52.0%) 学校行事及び業務内容の精選の他に、校務 D Xを進めることにより校内の情報を一元化し、業務の効率化を図った。 今後も、外部人材の活用や学校運営体制を見直し、働き方改革を推進していく。	A	A

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない

【評価項目の設定、達成状況改善及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

- ・児童の自己肯定感が育まれているところがとても良い。
- ・子どもが楽しく学校に通っている。江別第二小学校で本当に良かった。
- ・保護者アンケートから、学校と保護者の良好な関係を感じる。
- ・先生方の元気があるからこそこの学校なので、働き方改革をより推進してほしい。